

【議会報告会】

○国道 365 号の三重地区市民センターから三重団地付近の区間における渋滞が激しいため、議会からも対策を講じるように要望をしてほしい。

⇒議員 三重団地方面から国道365号に自動車が進入する分岐点の渋滞対策ができていないことについて大きな問題として捉えている。

○道路の損傷が激しい箇所の舗装を行うための予算を国からの内示額を受けて路線ごとに配分したことに関して優先順位はどのように決定したのか。

⇒議員 優先順位を決めるプロセスの細部の確認はしていないが、例えば、交通量や歩車の分離がなされているか等の交通安全に係る部分で生命の危険性がより高い方に優先的に予算を配分したと理解している。

○下野保々線で道路脇の草木が垂れ下がって道路にはみ出している危険箇所があるため、対応してほしい。

⇒議員 ご意見を担当部局に伝える。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：市民参加の議会》

○以前に日経グローバルの議会改革度調査において四日市市の総合順位がトップであったことを受けてテーマでもある市民参加の議会という項目も大きな要因となっているが、議会としてどのような認識をしているのか。

⇒議員 日経グローバルの議会改革度調査において四日市市議会はランキングが低い時もあったが、市民から何を求められているのか議員が分析をした上で市民参加の手法を具体的に提案、実践してきたことが認められた成果であると認識をしている。

○市民からホームページで意見募集しているが、四日市市議会ホームページの閲覧数を把

握しているのか。

⇒議員 四日市市議会のホームページの閲覧数については今答えることはできないが、定例月議会ごとに議案に対する意見募集をホームページで実施している。ただ、議案の上程日から委員会審査までは 10 日間程度であり、現実的に市民からの意見を募集する手立てがホームページに掲載する以外にないため、他の手段があれば、採用していきたいと考えている。

○市民参加の取り組みとして市議会モニター制度があるが、高校生にはハードルが高いと感じるため、高校生でも議会に意見を伝えられる機会を設けることはできないか。例えば、川越高校では自転車通学者の交通事故が非常に多いことが問題になっており、生徒会でも安全対策に取り組んでいるため、高校生の視点から議会に対して意見を伝えたい。

⇒議員 今後、市議会モニターに準ずるような高校生等の議会への参画方法について議会でも議論していきたい。特に川越高校は、川越富洲原駅と伊勢朝日駅からの自転車通学者が非常に多いため、交通安全対策について委員会でも議論をしていきたい。

○市議会モニターとして意見を数件提出しているが、意見をどのように取り扱っているのか。提出した意見については、市議会だよりまたは広報よっかいちに掲載してもらうことはできないのか。

⇒議員 議員は、市議会モニターから提出された意見と回答について各会派の掲示板で確認をして情報共有をしている。市議会だよりまたは広報よっかいちへの掲載については、頂いた意見を広報広聴委員会に伝えたい。

○各定例月議会における議員の一般質問後の経過について報告してほしい。

⇒議員 議員の一般質問後の経過報告については、現在は各議員の市政報告会にとどまっているため、議会全体として情報発信をしていけるのか考えていきたい。

○選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられて高校生でも選挙で投票することができるようになったことから、市議会議員も高校に出向いて活動等を報告してほしい。議員が高校

生と関わることによって、市議会のホームページの閲覧数が増えたり、市議会議員になりたいと興味をもつ生徒が出てれば、今後の四日市市議会の発展に繋がると考える。

⇒議員 先日、高校生に市議会議員の仕事について講師として説明する機会があったが、非常に好評であったため、議会としてどのように高校生と関わっていくのか改めて考えていきたい。

⇒議員 昨年夏頃に四日市市選挙管理委員会が高校生を対象として選挙制度を説明する機会があった。三重県議会では、県議が高校を出向いて活動を説明する事例もあるため、頂いた意見を広報広聴委員会に伝えたい。

○近鉄名古屋線の電車を利用した際に車内放送は英語にも対応しており、外国人にも配慮した取り組みが進んでいることを感じた。四日市市議会では、市内在住の外国人を対象に市議会の情報を提供する具体的な取り組みについて検討しているのか。

⇒議員 ブラジル人が多く居住している市内の笹川地区を中心に多文化共生の取り組みがされており、ポルトガル語版の広報よっかいちも配布している。今後、市議会の活動について外国人に情報を発信する手段を考えていきたい。

《その他》

○増大する社会保障費への対応について市議会はどのような認識をしているのか。

⇒議員 四日市市としても重大な問題と捉えており、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを行っている。

○11月定例会議会の補正予算に関して国からの内示額が少なかったため、全く予算が配分されずに整備が遅れていくにも関わらず、別段異議なく可決すべきものと決している状態は議会の対応として適切ではないのではないのか。

⇒議員 審査の結果は、別段異議なく可決すべきものと決したと表記されているが、議会として厳しくチェックして委員会では行政側にしっかりと意見を伝えている。

○日永地区市民センターで市長のタウンミーティングが開催された際に市税の徴収を怠っ

ていたとして市職員が処分されたことに関して議員に意見を求めたが、取り合ってもらえなかった。議員は市民の代表として活動し、行政に対してしっかり意見を伝えてほしい。

○警察の取り調べを受けた者が議員として活動することは言語道断であり、市議としての資質はないと考える。

⇒議員 頂いたご意見については、真摯に受け止めたい。

○不祥事を起こした市議や市職員の処分が甘いのではないか。しっかりと市民の意見を聴いた上で議会は問題を取り上げて報告をする必要があるのではないか。

○議会に伝えても行動に移してもらえないと市民が感じているため、意見が集まらないと考える。しっかり対応していることが市民にも伝われば、シティ・ミーティングの参加者も増加するのではないか。

⇒議員 市民の意見を聴いて対応して欲しいという声だと思うが、議会には市議や市職員の不祥事への対応に関して市民からの意見はほとんど届いていない状況にある。市議会の議会報告会やシティ・ミーティングの参加者も年々、固定化し、減少しているため、市民がどうすれば、意見を出しやすくなるのかアイデアを頂きたい。今回頂いた意見については、各議員が念頭に置いてしっかり行動していきたい。